

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和５年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名		新座市福祉の里図書館及び新座市立中央図書館分館		
所在地		埼玉県新座市新塚１丁目４－５ 福祉の里４階ほか	所管部署	新座市立中央図書館
制度導入年度		令和元年度	選定方法	☐ 公募 / ☒ 指名
指定 管理者	名 称	株式会社図書館流通センター	所 在 地	東京都文京区大塚３－１－１
	指 定 期 間	令和４年４月１日～令和９年３月３１日（５年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	新座市の図書館設置目的と弊社の図書館運営理念とを融合させた図書館運営をめざします。図書館運営を行うにあたっては、関係法令および諸規定を順守し、個人情報保護や危機管理対策、著作権法等、図書館運営における重要課題となる事柄を全スタッフは学び、実践いたします。また、スタッフの技術および知識の向上を図り、適切な管理運営とサービス提供を行います。地域との連携を図りながら、図書館活動を展開させていきます。		
特筆事項	※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載 福祉の里図書館は、幼児から高齢者まで、市民の福祉、コミュニティ活動の中心となる「福祉と教育の総合施設」である『福祉の里』の中に設置されており、児童並びに高齢者を中心としたサービスに努めてきました。 新型コロナウイルス感染症は、５月に５類に移行されましたが、利用者に安心してご利用頂けるよう運営に取り組んで参りました。 事業は、令和２年３月より休止していた「あかちゃんタイム」は３年強のブランクがあり、どの様に実施していたか若干手探りのところもありましたがボランティアが足りないところは里のスタッフでカバーし、問題なく再開することができました。「学級訪問」は、８校を福祉の里図書館で受け持つことになりボランティアに依頼していたブックトークもスタッフに経験者がいたため、また中央図書館様にご指導も頂き全体を通して特に問題なく進めることが出来ました。有難うございました。 講座等では、小学校等へ読み聞かせに行かれる方向けに「はじめての読み聞かせ講座」を開催。昨年度好評の「歴史講座」「ハーブで絵本の世界へ」「人形劇」等は、定員以上の申し込みがあり次年度も引き続き同様の講座を設けていきます。また、幼児・児童向けイベントで普段行っているおはなし会と違った参加型おはなし会「なりきりおはなし会」を実施。本の世界を楽しむアニマシオンの一環として絵本に出てくる動物になりきりお話を楽しむイベントでは、子供達が即興にも関わらず楽しんで参加してくれました。 地域連携では、埼玉県立新座総合技術高等学校の生徒さんが作成したＰＯＰと図書館にある資料を合わせた共同展示を１２月に開催し貸出につなげることが出来ました。 ６月に図書館利用促進を図るため、近隣の保育園を訪問し福祉の里図書館について説明したところ一つの保育園から１０月に「出張おはなし会」の要望があり実施、１１月からは毎月第２木曜日に行っています。 利用状況は、令和４年１１月は長期休館のため１１月を除いて比較すると圖書の貸出冊数は（令和４年度 287,888冊／令和５年度 273,237冊 前年比94.9％）、貸出者数では、児童が（14,526人／18,603人 前年比128.1％）一般が（91,469人／104,697人 前年比114.5％）の結果となりました。 次年度も利用者に図書館に来て良かったと思われるよう日々改善・改革を意識して魅力ある図書館運営に向けスタッフ一丸となって取り組んで参ります。		

【総合評価】

指定管理者の自己評価				
総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	令和５年度は、休止する事業もなくすべての事業を展開することができました。幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし事業、その中でも年齢を問わず児童と高齢者が混じった事業は和やかに行われていました。一昨年から行っている幼児向けの「ひよこのおはなし会」は利用者の方からお声かけがあり個別に行っています。 一つ残念なことは、分館にて閉館時に業務用パソコンのＡＣアダプターをしまい忘れ１点紛失してしまいました。今後このような事がないよう閉館作業リストを作成、このリストに基づいて執り行うよう周知しました。誠に申し訳ありませんでした。 今後も市民の方々に図書館に来て良かったと思われるよう日々改善・改革を意識しスタッフ一丸となり業務に取り組んで参ります。			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	協定等の水準を満たす管理運営が行われた。 令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が５類に移行されたことにより、順次自主事業が再開された。子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした自主事業が利用者から好評を得ており、利用者数についても２年連続で前年度を上回ったことは評価できる。 また、市内小学校への学級訪問については、休止期間が長かったことから、事前に中央図書館で実施するブックトーク研修を受けてもらい実施した。学級訪問及び研修に、積極的に取り組んだことは評価できる。令和６年度も引き続き積極的に取り組んでいただきたい。 一方で、３月に分館において、貸与品であるアダプターの紛失があった。市の物品はすべて市の財産であることに鑑み、物品等の管理にも注意していただきたい。 今後とも、民間事業者としてのノウハウを活かした多様な事業を企画することにより、利用者数及び貸出数の増加に努めていただくよう期待する。			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

令和5年度は、貴市からの貸与物品であるノートPCのアダプタを紛失してしまい、誠に申し訳ございませんでした。日頃より適正な物品管理を行い、マニュアルやチェックリスト等を活用し、作業に抜け・もれがないよう努めて参ります。

令和6年度は、令和5年度より再開した事業を継承しつつ来館される皆さまの更なる満足度を高めるため、具体的には季節ごとのちいさなおはなしの時間スペシャルや、幅広い世代に楽しんでいただける講座などの地域密着型サービスに積極的に取組んでいきます。また、県立新座総合技術高等学校に次いで、新たに県立新座高等学校とのコラボレーション企画の実現といった若年層の利用増加につながる事業も取り入れていきます。学級訪問についても中央図書館様と協働し、民間事業者としてのノウハウを活かすため、情報や技術リテラシーを高めるなどの継続的なスキル向上にも努め、図書館ならではの事業を企画・実施し、利用者ファーストの図書館運営を進めて参ります。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	令和4年度 （1年目）	令和5年度 （2年目）	年度 （年目）	年度 （年目）	年度 （年目）
指定管理者の自己評価	A	A			
市の評価	A	A			